かくれん房 スタートガイド

PAC住宅

放熱器設置タイプ／熱源：灯油

このガイドではＰＡＣ住宅専用低温輻射暖房システム「かくれん房」の使い方のポイント、健康な暮らしに合わせた使い方のご紹介等をご説明しています。**給湯器、リモコン等付属の取扱説明書と一緒に保管し、合わせてご覧下さい。**

使い方のポイント

シーズン始めは…

シーズン早めのスタートを

使用開始の時期は外気が冷え込んでからですと暖まりにくくなりますので、シーズン早めのスタートをおすすめします。

最初は土間が暖まるまで温度を上げる

シーズン最初は土間が暖まるのに半日～１日程度かかります。最初は土間が暖まるまで（体感で心地よいと感じる温度まで）温度を上げ、その後その温度を保つようにタイマーなどで調整して下さい。

蓄熱後は土間温度を保つ程度に調整

土間コンクリートに暖かさが蓄熱されれば、その後は蓄熱を保つ程度の温度、時間設定で構いません。

注意

秋・冬期にご入居のお客様へ

入居後すぐお使いの際は低温からスタート

建築直後に「かくれん房」を高温で使うと、木材の乾燥が急速に進み、反りなど出やすくなることがあります。**秋・冬期にご入居し、すぐにかくれん房を使われる際は、低温からスタートし、暖かさが足りないと思ったら、徐々に温度を上げるようにして下さい。**

ヒント

室温が20℃を切る頃を目安に

使用開始の時期は、あまり外気が冷え込んでからですと暖まりにくくなりますので、目安として室温が20℃を切る頃、一日に２，３時間からスタートして、外気が下がるにつれて運転時間を延ばし、室温が20℃程度を保つように使うと効果的です。

温度変更は「はやめ」に

かくれん房は輻射で室内を暖めるため、放熱器の温度変更をした場合は、変化が反映されるまでにある程度時間がかかります。気温の変化があらかじめわかるような時は早めに温度変更しておくと良いでしょう。

「健康な温度」＝「寒くない温度」

健康な温度環境は「家の中に温度差がないこと」です。さらに、天井、床、壁それぞれの面がほぼ均一に輻射熱で暖められている環境であれば、意外と低い温度でも寒さを感じないものです。どこへ行っても寒くない理想的な健康空間が実現できます。理想的な温度は、寝ている時は15～17℃程度（※確認）、起きている時は18～22℃程度です。

ヒント

使い始めから暖房温度を上げすぎない

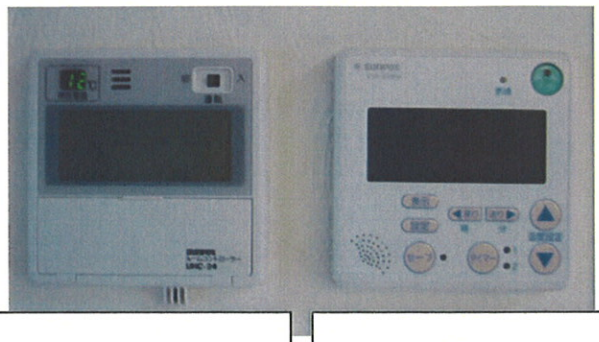
暖房の使い始めから温度を上げてしまうと、身体もその温度に慣れてしまいます。どんどん高い温度を求めていく悪循環にならないように意識して温度管理をして下さい。

コントローラーの使用方法

コントローラーの仕組み

「かくれん房」は**土間コン温度コントローラー**と、**給湯ボイラーコントローラー**の２つのコントローラーを使います。

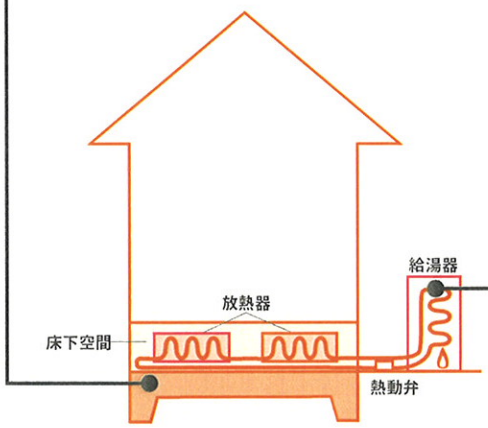
運転・停止方法、タイマー設定の仕方等は各取扱説明書を参考にして下さい。



土間コン温度コントローラー　給湯ボイラーコントローラー

仕組み

土間コンクリートの温度を測定し、設定温度に達すると自動的に熱動弁が閉まる。



給湯器内の温水の温度を測定し、設定温度に達すると自動的に燃焼をやめる。

コントローラーの使い方

ＯＮ・ＯＦＦは両方のコントローラーそろえる

どちらかのコントローラーだけを動かしてもかくれん房は作動しません。運転及び停止は両方のコントローラーをそろえて行ってください。

タイマー時間も両方のコントローラーそろえる

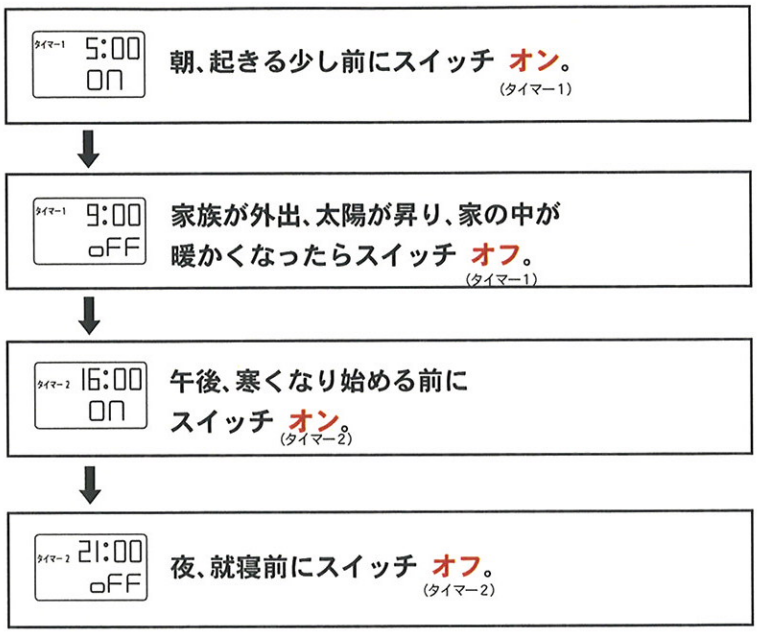
タイマー時間も運転・停止同様、両方のコントローラーの運転時間がそろっていないと上手く作動しません。タイマー時間も２つのコントローラーの設定をそろえてください。

それぞれのお宅に合わせた設定を

ご家族の体感温度、生活スタイル等によって快適な温度環境はそれぞれ違います。ご家族に合った温度、時間設定を工夫してみてください。

参考例１：タイマー予約を活用

１日２回までのタイマー予約運転が可能です。ご家族の生活時間に合わせて運転・停止をするとよいでしょう。早めに時間設定するのがポイントです。また、土間の暖かさが途切れないようにすると経済的なようです。



タイマー設定時刻は目安です。ご家族の生活パターンに合わせて、時刻設定をしてみてください。

参考例２：24時間運転

24時間連続運転で使われているお住まいもあります。運転は24時間オンにし、温度設定を手動で調整（もしくはセーブ温度と組み合わせてタイマー予約運転）という使い方をしても良いようです。

解説

運転時の燃焼音

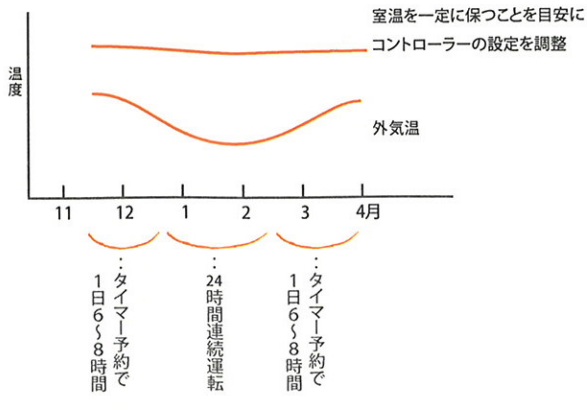
土間コンクリートが土間コン温度コントローラーの設定温度に達した場合は、ボイラーからの給湯は制御され、温水はボイラー内で循環します。そのため作動音がする場合があります。

ヒント

体感に応じて臨機応変に

冬の寒さも時期によって温度に違いがあります。外気温やご家族の体感に応じ、臨機応変に設定を行うと良いでしょう。たとえば快適目安の温度を決め（例えば1pで紹介している20℃）、それを切らないように厳冬期は24時間連続運転、それ以外の時期は１日数時間運転とする使い方もあります。

たとえば・・・・



お手入れQ＆A

日常の手入れ・点検、定期点検、故障・異常時の見分け方・処置方法等は、**必ず付属の取扱説明書を元に対処して下さい。**
ここではよくお問い合わせのある質問をご紹介します。

灯油を切らしてしまった!	灯油タンクを空にすると、給湯器メーカー（サンポット）による「○○」が必要になるので、灯油タンクが空になる前に、灯油を補充されることをおすすめします。タンク内の灯油残量は外からわかるようになっています。 灯油タンクが空になった場合はお問い合わせください。
循環水（不凍液）が減っている場合は?	循環水が蒸発して水位が減った場合、専用の補充液を足して下さい（応急処置として水を足してもＯＫ）。 循環水の減りが早い場合は他の原因も考えられますので、お問い合わせ下さい。
循環水のメンテナンスは?	循環水（不凍液）は経年劣化するため３、４年に１度、交換作業が必要になります。給湯器全体の確認のためにも１年１回はメーカーによる定期点検を行っていただき、給湯ボイラーを常に安全に使用されるようお心がけ下さい。

MEMO

ご連絡・お問い合わせ

それぞれの取扱説明書に解説がございます。不明な点やトラブルがございましたらご連絡下さい。

エアサイクル産業株式会社

東京都中央区銀座2-8-4 泰明ビル３階　Tel: 03-3538-2110　Fax: 03-3538-2120　E-mail: passive@pppac.com

スタートガイドの内容は弊社ホームページでもご覧いただけます。　http://www.passive.co.jp